

俳句をつくって俳句大会に応募しよう

おだわら 小田原で生まれた藤田湘子さん（男の人です）は、たくさんの俳句をつくり、たくさんの弟子を育てた俳句の先生。たとえばこんな俳句を作っています。

原っぱは原っぱいろに春みぞれ

みぞれ（雨まじりのすぐにとける雪）がふつたので原っぱがぬれています。春になって草もはえてきたところ。その草のぬれた色を見て「こういうのを原っぱ色とよびたいな。春らしくて、なんだかいいなあ」と思ったのでしよう。

みんなも、このように、気がついたことを俳句にしてみよう！！

俳句づくりのコツ

① 季節を感じることは（季節）を一つ入れる

たとえば（秋：秋風 もみじ 赤とんぼ 十五夜 運動会 すずき 虫の声 どんぐり）
（冬：北風 落葉 手ぶくろ たい焼 冬休み スケート 大根 雪 白鳥 など）

② 五文字、七文字、五文字のリズムでつくる（少しならはみ出してもOKです）

俳句を作ったらこの紙に書いて、切り取って応募してください。（ひとり一句）

優秀作品は令和4年4月16日に小田原市民ホール（三の丸ホール）で表彰されます。

【応募先】小田原市立中央図書館（〒250-0875 小田原市南鴨宮1の5の30）

【電話】0465（49）78000 【応募締切】令和3年11月30日（消印有効）

※小田原市ホームページの電子申請からも応募できます。



応募作品	
名前	学校名
自宅住所	小学校
	学年
	電話番号